

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 244 号	氏名	兒玉 幸修
学位審査委員	主 査	中村 純三	
	副 査	黒田 直敬	
	副 査	中嶋 幹郎	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、抗がん薬として 5-fluorouracil (5-FU) を選択し、肝臓表面からの吸収制御および局所滞留性の向上を目指し、更にはがん組織表面からの吸収性および体内動態を明らかにしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価</p> <p>実験動物としてラットを用い、肝臓表面投与方法による 5-FU の肝臓内および全身移行性、粘性添加剤併用による 5-FU の肝臓表面からの吸収動態制御、肝臓表面投与後の 5-FU の肝臓内および全身分布に対する血流の影響、がん組織表面投与後の 5-FU の吸収および肝臓内分布について解析したものであり、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、5-FU を肝臓表面へ投与することにより、肝臓内の投与部位近傍へ選択的かつ持続的に集積させることが可能であり、粘性添加剤や血管収縮薬および血管拡張薬を併用することで、吸収速度や体内動態を制御できることを明らかにした。また、がん組織表面からの吸収性および肝臓内分布に関しても基礎的知見を得て、今後のがん化学療法研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文はがん化学療法研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (薬学) の学位に値するものと判断した。</p>			